

仏様は百獣の王？

じょうしんにょししろう

19 上身如獅子相

仏様は獅子のような上半身である。

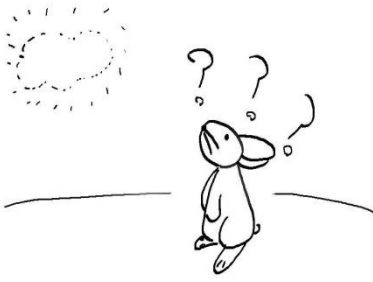
獅子は、威厳があり、何事にもひるまず、勇敢であることの譬えです。

お釈迦様のたとえ話に、

昔々一匹のウサギがいました。冬に備えて木の実を集めたのですが、他の動物たちに見つからない様にと、誰もいない野原に來ました。土の中に隠し、隠し場所を忘れないように何か目印はないかと探しました。ふと見上げると変わった形をした雲が見える。この雲を目印にしようと考えました。そして冬、雲が動くことを知らなかったウサギは目印を見失い、木の実を見つけることはできなかつたのです。



「面相が降りる」
美しい日本語の表現です
若住取



絶えず変化するのは雲だけではありません。人生の頼りとするところを間違ふなよと、私を頼りとしてくれと、わかりやすい百獣の王のお姿で表してください。

仏様の

三十二相

仏様には32の特徴があります。仏様のやさしさを少しずつご紹介です。

子を案じる親の様

さいじきしんろう

20 大直身相

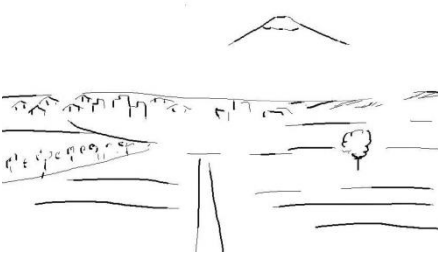
仏様の体はそれはそれは大きいそうです。

どれぐらい大きいのでしょうか。

西遊記という話の中で、孫悟空が

三蔵法師の元にいるのが嫌になり、筋斗雲に乗り遠くに逃げるのですが、結局は仏様の手の中だった…という話があります。

この話は何をしても仏様の手の内と見ることもできませんが、これはどのようなことがあっても仏様は見ているととればどうでしょうか。



空気の澄んだ冬の空、市原の地から遠い富士山がみえるように、仏様が大きいという事はいつでも見える場所にいる、あなたを離れて存在するわけではないことを大直身相は表しています。